

P-17

人類未踏の光

”テラヘルツ波の不思議”

まつもとだいら あすみの
松本平から安曇野では、雨上がりの早朝そうちょうに北アルプスのすそのから山の頂いただきにかけて、
きれいな虹にじが見られます。虹にじはなぜ雨上がりにかかるのでしょうか？七色にみえるのは
なぜでしょうか？虹にじを作ってこのふしぎなことを考えてみましょう。虹にじは太陽たいようからの光
が小さな雨の粒つぶにあたって、雨粒あまつぶのなかでいろいろな色の光に分けられてきれいな7色の
光になったものです。

たいよう
太陽からの光はそのままでは色がついていなくて白色はくしょくですが、じつはいろいろな色の光
が一緒いっしょになっているのです。どんな色かさが重なっているのかは、簡単な道具で見てみるこ
とができます。今日は、分光器ぶんこうきと呼ばれる光をいろんな色に分ける道具どうぐを作って、虹にじを作っ
てみましょう。さらに光は、水面すいめんの波なみと同じようにゆれながら進んでいく波なみのひとつです。
この波なみの性質せいしつを使った偏光板へんこうばんという板いたでも虹にじを作ってみましょう。

ブース内容ないよう

作ってみよう！

- ・CDを使ってカタツムリ分光器ぶんこうきを作ろう！
- ・アクリル板と偏光板へんこうばんで万華鏡まんげきょうを作ろう！

工 作 時 間

10分くらい

観察してみよう！

身近なものに

わあっ！

とした驚きが

- ・プリズムを使って虹にじを作ろう！
- ・見えない光でお札さつの秘密ひみつを見つけよう！
- ・ケータイの液晶画面えきしょうがめんの不思議ふしぎを知ろう！

特別パネル展示

- ・人類未踏じんるいみとうの光 “テラヘルツ波” の不思議ふしぎ

なんと

透視

も可能にします